

邑楽郡青少推だより 第15号

令和2年11月10日発行



核家族やひとり親家庭、共働き家庭が増加し、地域のつながりが希薄化する中、家庭教育を支える環境は大きく変化しています。また、子育てに悩みや不安を抱えながら、支援を受けることなく孤立してしまう家庭もあり、児童虐待や不登校など、子どもの育ちをめぐる課題も懸念されています。

文科省は、子どもたちの健やかな育ちを支え、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域において主体的に家庭教育の支援の取組を行う「家庭教育支援チーム」の設置を促進しています。

家庭教育支援チームとは？

【構成員】

地域の実情に応じた子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材

【主な業務】

- ①保護者への学びの場の提供（学習機会の提供や情報提供、相談対応）
- ②地域の居場所づくり（親子体験型プログラムの実施、情報提供や交流の場の提供）
- ③訪問型家庭教育支援（家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応）

東部管内では3つの団体がチーム登録していますのでご紹介させていただきます。

○みどり市家庭教育支援チーム（とまり木）<https://www.tomarigi7.com/>

平成28年発足。毎月第2金曜日に「とまり木食事会」開催（コロナ禍では弁当の配布）。地元の高校生や各種団体、ボランティアの協力のもと、学習サポート、ヘアアレンジ教室、手話教室、音楽ライブなども実施。活動の功績が認められ、令和元年に「群馬ふるさとづくり奨励賞」「あしたのまち・くらしづくり活動賞 奨励賞」を受賞。



○太田市家庭教育支援チーム（子育てサロンくらら）<http://www.npo-ccm.org/>

平成18年発足。心理学、カウンセリング、人間福祉学を学び、「学んだことを生活に活かす」「学んだことを地域に返す」ビジョンで、毎年「生活に活かせるカウンセリング入門講座」を開催。平成30年度より毎月第1・3木曜日に子育て支援「子育てサロンくらら」を開設。



○太田市家庭教育支援チーム（Ota 子育てのWA）<https://mamapowerup.amebaownd.com/>

平成30年発足。0歳から親子で楽しめる講座の実施。親同士、子ども同士が交流できる場の提供。妊娠中の母親や産後の母親・父親向けの運動系講座や子育てに関する講演会やワークショップを開催。



家庭教育支援チームのロゴマーク



家庭教育支援チーム

コンセプト 「温かく包む支援の輪」

地域の人々の支援の輪が、子供や保護者の方を温かく包み込むイメージを体現したロゴマークです。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101